

報道関係者各位

2020年12月2日

アメリカ発・社会貢献プロジェクト SAGE JAPAN CUP の活動に協力

国際社会に求められるアントレプレナーシップを持つ若者を育成

女性の起業支援実績を多数有する株式会社キャリア・ママ(本社・東京都多摩市、代表取締役・堤 香苗、以下、当社)は、2018年度より、SAGE JAPAN CUP(セージジャパンカップ: Students for the Advancement of the Global Entrepreneurship Japan Cup: アメリカで創設された国際的教育プログラムで、日本で開催される年に一度の国内大会)の活動に社会貢献活動の一環として協力をしています。主な協力内容としては、当社代表の堤が審査員として継続して携わっています。新型コロナウイルスの流行もありましたが、2020年7月に今年のSAGE JAPAN CUPはオンラインにて開催、無事に終了しました(出場チーム数 8チーム/優勝 都立国際高校・テーマ「海洋プラスチック問題」)。

そして、11月14日にはSAGE JAPANがオンライン講演会を主催し、高校生・大学生など70名が参加しました。講演では、当社代表取締役の堤より、キャリア・ママの成り立ちや、今後の活動へのアドバイスなどをお話しました。コロナ禍でも会えない制限があっても、オンラインなどを活用し、学習以外の活動を行う学生たちに対し、デジタルネイティブ世代の得意なことを活かし、不確実な時代でも前に歩み続けてほしいというメッセージで締めくくりました。



<SAGE(セージ: Students for the Advancement of the Global Entrepreneurship) とは>

2002年にアメリカで創設された国際的な教育プログラムです。大学生が主体的に本プログラムの運営を行っています。主体となる高校生数名がチームを組み、大学生とともに社会問題を発見し、企業にアドバイスをもらいながら、社会貢献プロジェクトを考案し、実践します。最後に、各チームがそのプロジェクト報告を持ち寄り、SAGE JAPAN CUP(国内大会)においてプレゼンテーションを行います。SAGE JAPAN CUP(国内大会)での優勝チームはSAGE WORLD CUP(世界大会)でプレゼンテーションを行います。

2003年にアメリカ、カリフォルニアで第1回 SAGE WORLD CUP が行われ現在では約 30ヶ国がこの取り組みを実践しています(2017年時点)。

アメリカで始まった SAGE の設立目的は、国際社会に求められるアントレプレナーシップを持つ若者を育成することです。アントレプレナーシップとは起業に必要な資質や能力のことを意味しますが、SAGE では起業そのものを目指すのではなく、起業に必要な問題解決能力、社会貢献力、提案力、創造力、チャレンジ精神、イノベーション能力(社会を変革する力)等多面的な育成を目指しています。また、世界の高校生、大学生が切磋琢磨して、交流することで世界平和のネットワークともなっています。



【株式会社キャリア・ママについて】

「育児や介護があっても少しの時間でも働きたい」という主婦在宅ワーカーによるチーム型アウトソーシング事業を推進。登録会員は全国 10 万人。主婦の再就業支援実績が認められ、官公庁より受託運営する再就業教育訓練事業も実績多数。2014 年には「おしごとカフェ」を、2018 年には保育室併設コワーキング CoCo プレイスを開業した。内閣府男女共同参画局「女性のチャレンジ支援賞」や、経産省 新・ダイバーシティ経営推進企業 100 選等受賞認定多数。設立 2000 年、従業員数 45 名、資本金 3875 万円

●本プレスリリースに関するお問い合わせ先●

株式会社キャリア・ママ 広報室

電話 042-389-0220

Mail:pr@c-mam.co.jp

HP: <https://corp.c-mam.co.jp/>